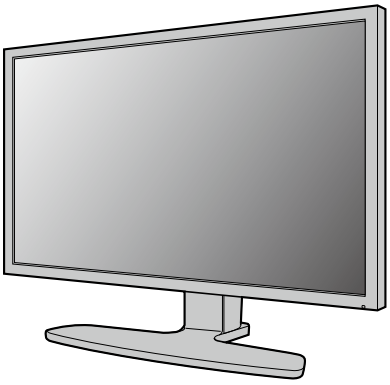
TOSHIBA
Leading Innovation

操作マニュアル

4K UHD モニター

形名 TUM-32PR01



：：必ず最初に本体同梱の取扱説明書の「安全上のご注意」をご覧ください。
：：操作ができなくなったなどの場合は、取扱説明書の「困ったときは」をご覧ください。

このたびは東芝モニターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機を安全に正しく使っていただくため、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。

目次

はじめに ····· 4

操作するパソコンを接続する ····· 5

パソコンを接続する ····· 5

準備 ····· 5

接続例 ····· 5

設定・調整の準備をする ····· 7

モニターのIPアドレスを調べる ····· 7

モニターの設定・調整画面を呼び出す ····· 8

本体の設定を変更する ····· 9

HDMI Dual（HDMI Dual設定） ····· 9

DisplayPort ····· 10

RGB Range（RGBレンジ） ····· 10

Auto Input Switch（入力自動切換） ····· 10

Auto Input Skip（入力自動スキップ） ····· 10

Energy Saving Settings（省電力設定） ····· 10

LED Brightness Adjustment（LED輝度設定） ····· 10

Display Orientation（ディスプレイ設置方向） ····· 10

Picture Size（画面サイズ） ····· 11

Language（言語設定） ····· 12

Network Setup（ネットワーク設定） ····· 12

Change Password（パスワードの変更） ····· 12

外部入力の映像設定をする ····· 13

Picture Mode（映像モード） ····· 13

Preference（調整モード） ····· 13

Backlight（バックライト） ····· 14

White Balance（ホワイトバランス） ····· 14

Picture Settings（映像調整） ····· 14

Advanced Picture Settings（映像詳細調整） ····· 14

Backlight Scan（バックライトスキャン） ····· 14

Low Latency Mode（低遅延モード） ····· 14

Resolution+（レゾリューションプラス設定） ····· 14

Color Texture（カラーテクスチャ） ····· 15

LTI（輝度エッジ補正） ····· 15

V Enhancer（Vエンハンサ） ····· 15

MPEG NR ····· 15

DNR ····· 15

Mosquito NR（ブロックノイズクリア） ····· 15

目次 つづき

Color Edge Enhancer（色エッジ補正）…… 16
Brilliance Restoration（輝き復元）…… 16
Backlight Control（LEDエリアコントロール）…… 16
Dynamic Contrast（質感リアライザ）…… 16
De-Interlace Mode（プログレッシブ処理）…… 16
Reset（初期値に戻す）…… 16

設定内容の保存と復元…… 17

設定内容を保存する …… 17
設定内容を復元する …… 17

キャリブレーションセンサーを使って適正化する…… 18

準備 …… 18
キャリブレーション画面を呼び出す …… 18
適正化する …… 19
映像モードに合わせて適正化する …… 19
お好みの設定値で適正化する …… 20

ICCプロファイルの保存と適用…… 23

Windows7の場合 …… 23
MAC OS Xの場合 …… 27

はじめに

お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この操作マニュアルでは、パソコンを使って画質の設定や調整や音の調整のしかた、キャリブレーションセンサーを使った適正化などについて説明しています。
パソコンとの接続、外部機器との接続、キャリブレーションセンサーの接続などについては、取扱説明書をご覧ください。

画質の設定や調整は、パソコンを使った操作と本体を使った操作があります。
本体を使った操作については、取扱説明書をご覧ください。

本機は以下のブラウザと OS の組み合わせで動作確認済みです。

ブラウザ	OS
Internet Explorer 9 / 10	Windows7 / Windows8
Chrome29.0	Android 4.1、Windows7 / Windows8
Safari 7.0	OS X V10.9 (Mavericks)

● 以下のブラウザとOSの場合、一部制限はありますが動作確認済です。

ブラウザ	OS	制　限
Safari 6.0	OS X V10.8 (Mountain Lion)	「ICC Profile Saving（ICCプロファイルの保存）ができない場合があります。
	iOS6 (iPad/iPad miniのみ)	• 設定ファイルの保存と復元ができません。 • 「ICC Profile Saving（ICCプロファイルの保存）ができません。

操作するパソコンを接続する

パソコンを接続する

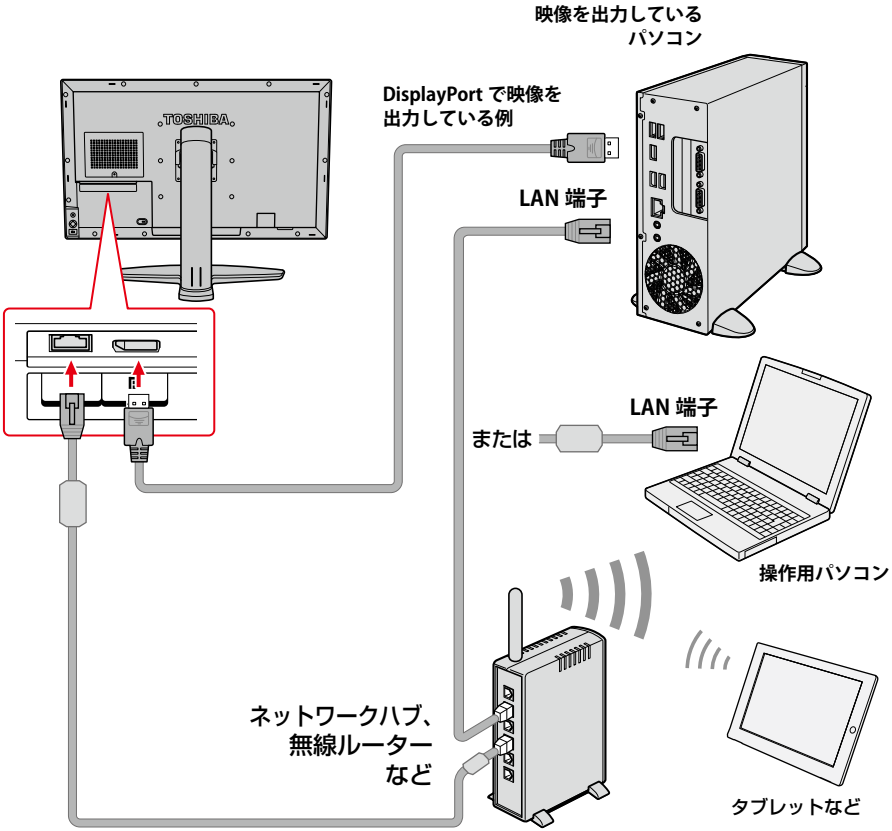
準備

- 操作するパソコンを接続する前に、LANケーブルにフェライトコアを取り付けます。フェライトコアの取り付けかたは、取扱説明書をご覧ください。

接続例

- 操作するパソコンは、モニターに映像を出力しているパソコンまたは操作用のパソコン、どちらでも使用できます。

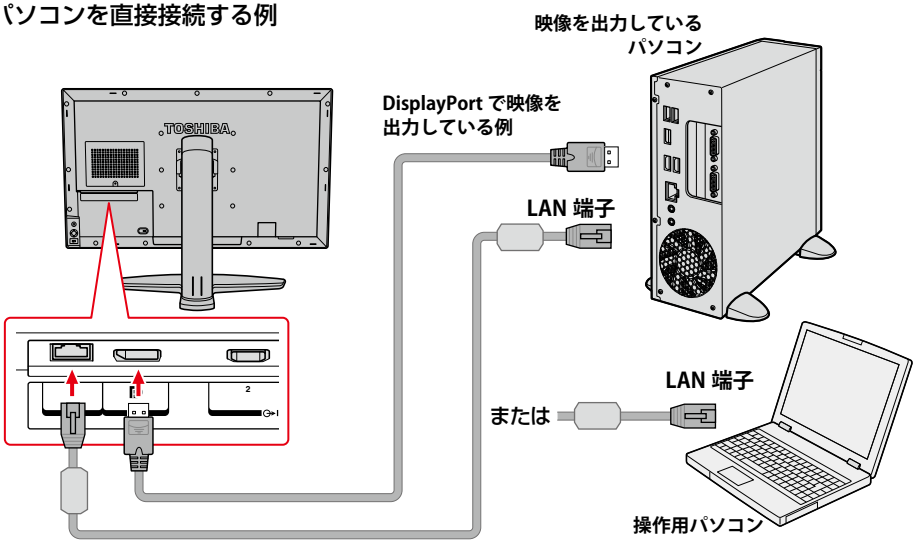
■ ネットワークハブやルーターを使って接続する例



- ネットワークハブが無線LANアクセスポイントに接続されている場合は、無線LANを使うことができます。その場合、パソコン以外にタブレットなどからも操作できます。
- ネットワークハブがインターネットを利用できるルーターに接続されている場合は、本機のソフトウェアアップデートができます。

操作するパソコンを接続する つづき

■ パソコンを直接接続する例



- パソコンを直接接続するときは、ストレートケーブルまたはクロスケーブルのどちらでも使用できます。
- パソコンを直接接続してモニターにアクセスできない場合、または固定のIPアドレスなどでネットワークを構築している場合は、「ネットワークハブやルーターを使って接続する例」の接続をして、モニターの設定・調整画面を呼び出し(➡ 8 ページ)、「Network Setup(ネットワーク設定)」(➡ 12 ページ)でIPアドレス、サブネットマスクの設定をしてから、パソコンも同様の設定にしてください。

設定・調整の準備をする

● パソコンのブラウザを使って、モニターの設定・調整画面を呼び出します。

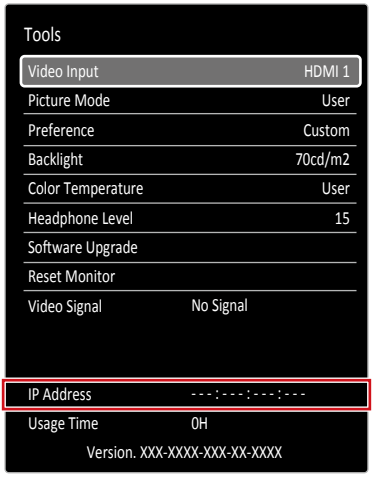
モニターのIPアドレスを調べる

● モニターの設定・調整画面を呼び出すために、モニターのIPアドレスを調べます。

❶モニターの電源を入れ、背面の操作スティックを押して「Tools（ツール）」メニューを表示させる

❷IPアドレスを確認して、メモする

● ネットワークハブやルーターを経由しないでパソコンと直接接続している場合、IPアドレスが確定するまでに数分間かかることがあります。



設定・調整の準備をする　つづき

モニターの設定・調整画面を呼び出す

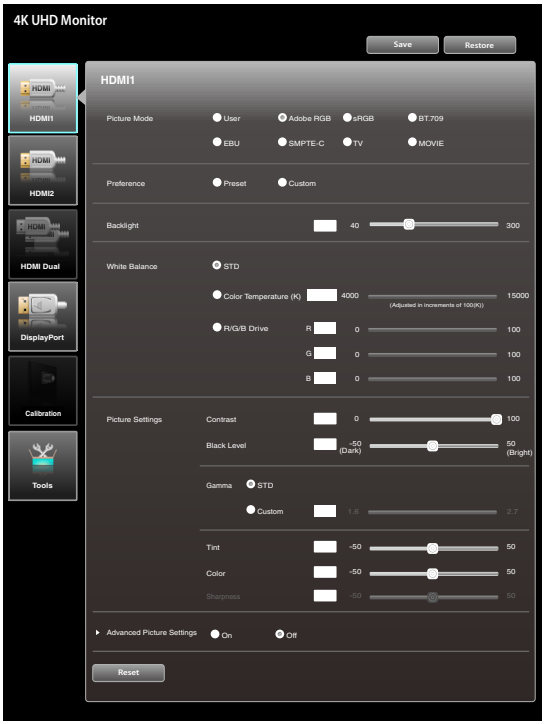
❶ 設定・調整用に接続したパソコンの電源を入れ、ブラウザを起動する

❷ URL入力欄にモニターのIPアドレスを入力し、画面を呼び出す

❸ ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、以下を入力する

ユーザー名：pro1
パスワード：password

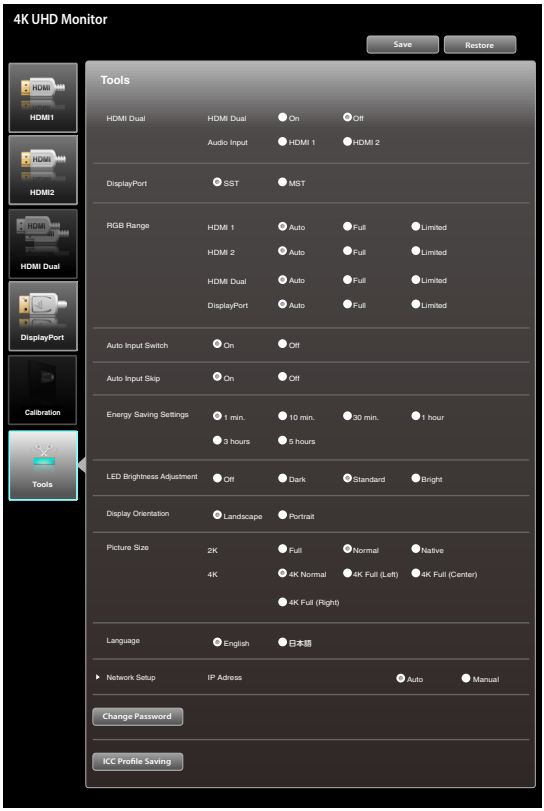
- ユーザー名、パスワードは、すべて小文字で入力します。
- モニターの設定・調整画面が表示されます。
- パスワードは、あとから変更することができます（➡ 12 ページ）。



- モニターの設定・調整画面は、お買い上げ時は英語表記に設定されています。日本語表記に変更する場合は、「Language」（言語設定）（➡ 12 ページ）の操作をしてください。
- 本マニュアルでは、英語と日本語で表記が変わる項目については、英語表記（日本語表記）の順で記載しています。

本体の設定を変更する

「Tools（ツール）」タブで設定します。



HDMI Dual（HDMI Dual設定）

HDMI Dualの設定をします。

※ HDMI DualはHDMI1とHDMI2の入力映像を一つの画面で表示する機能です。

● **HDMI Dual**

HDMI1とHDMI2の両方を使ってHDMI Dualとして使用する場合、「On（使用する）」を選びます。

HDMI Dualで使用しているときは、1920×2160のDual入力モードになり、60Hz（P）で入力できます。

「Off」（使用しない）を選ぶと、HDMI1、HDMI2をそれぞれ別の入力端子として使用できます。

※ HDMI Dualの設定を「On（使用する）」にする場合は、パソコンの出力設定をご確認ください。

● **Audio Input（音声設定）**

HDMI Dualで使用しているときに、HDMI1の音声を出力するか、HDMI2の音声を出力するかを選びます。

本体の設定を変更する つづき

DisplayPort

DisplayPort の設定をします。

- DisplayPort端子をSST（シングルストリーム）モードで使用するか、MST（マルチストリーム）モードで使用するかを選びます。
  ※ MSTモードで正常に映像が出力されない場合は、SSTモードに切り換えてください。

RGB Range（RGBレンジ）

入力端子ごとに RGB レンジの設定をします。

Auto（オート）：入力信号の情報から、フルレンジとリミテッドレンジの設定を自動で切り換えます。

Full（フルレンジ）：0 ～ 255 のフルレンジで使用します。

Limited（リミテッドレンジ）：16 ～ 235 のリミテッドレンジで使用します。

Auto Input Switch（入力自動切換）

使用している端子が無信号になったとき、他の端子から信号入力があった場合に自動で切り換える機能を設定します。

- 「On（する）」を選ぶと、自動で切り換えます。

Auto Input Skip（入力自動スキップ）

本体背面の操作スティックを使って入力を切り換えるとき、未接続の端子を自動でスキップするかどうかを設定します。

- 「On（する）」を選ぶと、未接続端子は自動でスキップされます。

Energy Saving Settings（省電力設定）

無信号時に、待機状態になるまでの時間を設定します。

LED Brightness Adjustment（LED輝度設定）

本体電源表示の明るさを設定します。

Display Orientation（ディスプレイ設置方向）

画面の使いかたにあわせて、本体の操作スティックを使って表示させる「Tools（ツール）」メニューの向きを、ディスプレイ設置方向に合わせて変更します。

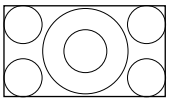
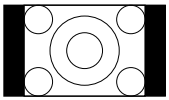
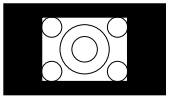
- 画面の使いかた（縦・横）にあわせて「Landscape（ランドスケープ（横長））」または「Portrait（ポートレート（縦長））」を選びます。

本体の設定を変更する　つづき

Picture Size（画面サイズ）

モニターに表示する画面サイズを設定します。

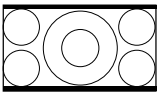
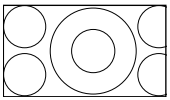
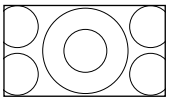
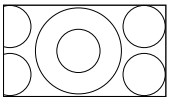
● 2K（1920×1080ドット）以下の入力信号の場合

Picture Size（画面サイズ）	画面の見えかた	説　明
Full（フル）		画面いっぱいに表示します。（4：3の画像では横長になります）
Normal（ノーマル）		そのままのアスペクト比で画面の上下いっぱいに表示します。 ※ 画像の無い部分は黒く表示されます。
Native（ネイティブ）		入力信号の1ドットを縦・横2ドットずつの4ドットで表示します。 ※ 画像の無い部分は黒く表示されます。

● 4K（4096×2160ドット）の入力信号の場合

4096×2160ドットの入力信号を本機の画面（3840×2016ドット）に表示するサイズを設定します。

4K Full (Left)（4Kフル（左））、4K Full (Center)（4Kフル（中央））、4K Full (Right)（4Kフル（右））はDot by Dotで表示します。4096×2160ドットの画像をそのままのアスペクト比で表示します。画素数が足りない部分は、切れた状態で表示されます。

Picture Size（画面サイズ）	画面の見えかた	説　明
4K Normal（4Kノーマル）		画像を縮小して全体を表示します。 ※ 画像の無い部分は黒く表示されます。
4K Full (Left)（4Kフル（左））		画像の右側が切れた状態になります。
4K Full (Center)（4Kフル（中央））		画像の両側が切れた状態になります。
4K Full (Right)（4Kフル（右））		画像の左側が切れた状態になります。

本体の設定を変更する つづき

Language（言語設定）

本体の操作スティックを使って表示させる「Tools（ツール）」メニューとモニターの設定・調整画面の表示言語を、日本語または English から選びます。

Network Setup（ネットワーク設定）

ネットワークの設定をします。

※「Network Setup（ネットワーク設定）」左側の▶をクリックすると設定項目が表示されます。

- 「IP Address（IPアドレス）」が「Auto（自動取得）」のときは、「Subnet mask（サブネットマスク）」、「Default Gateway（デフォルトゲートウェイ）」は設定できません。
- 「DNS Address（DNSアドレス）」が「Auto（自動取得）」のときは、「Primary DNS Address（DNSアドレス（プライマリ））」、「Secondary DNS Address（DNSアドレス（セカンダリ））」は設定できません。
- 「Proxy（プロキシ）」が「Off（使用しない）」のときは、「Port Name（ポート名）」、「Port Number（ポート番号）」は設定できません。
- 「MAC Address（MACアドレス）」には、MACアドレスが表示されます。変更することはできません。

Change Password（パスワードの変更）

パソコンのブラウザを使って、設定・調整画面を呼び出すときの Password（パスワード）を変更するときにクリックします。

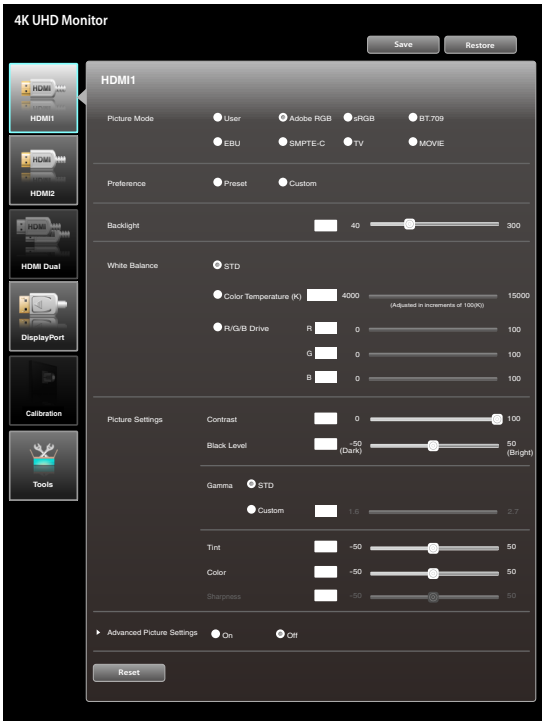
- **「User」（ユーザー名）**
  ユーザー名は「pro1」が設定されています。変更はできません。
- **「Password」（パスワード）**
  お買い上げ時のパスワードは、「password」（すべて小文字）が設定されています。必要に応じて変更してください。
  使用できる文字は「A ～ Z」、「a ～ z」、「0 ～ 9」、「-」（ハイフン）になります。
  パスワードは8文字以上16文字以下で設定してください。大文字／小文字も判別されます。

外部入力の映像設定をする

DisplayPort、HDMI 端子に接続した機器からの映像設定をします。
使用する外部入力端子のタブを選んで設定します。

※「Tools（ツール）」の「HDMI Dual」で「On（使用する）」を選んでいるときは、「HDMI1」、「HDMI2」タブは選べません。
「Tools（ツール）」の「HDMI Dual」で「Off（使用しない）」を選んでいるときは、「HDMI Dual」タブは選べません。

※ 本体の設定が変更された場合は、ブラウザの更新をしてください。



Picture Mode（映像モード）

映像モードを選びます。

- 「User」、「AdobeRGB」、「sRGB」、「BT.709」、「EBU」、「SMPTE-C」、「TV」、「MOVIE」、から選びます。

Preference（調整モード）

「Preset（プリセット）」または「Custom（カスタム）」を選びます。

- 「Preset（プリセット）」は映像調整値が設定されているモードです。設定値の変更はできません。
- 「Custom（カスタム）」は、選ばれている Picture Mode（映像モード）の調整ができます。
  調整は、スライドバーを動かす、または数値を入力します。

外部入力の映像設定をする　つづき

Backlight（バックライト）

バックライトの明るさを調整します。

White Balance（ホワイトバランス）

3 つの調整モードから選べます。

STD（または User *）：標準値が設定されます。

* 「User」は映像モードが「User」のときに表示されます。

Color Temperature（色温度）：色温度を調整します。

R/G/B Drive：R/G/B のゲインを調整します。

※ 色温度を設定している場合は、調整できません。

Picture Settings（映像調整）

「Contrast（コントラスト）」、「Black Level（黒レベル）」、「Gamma（ガンマ）」、「Tint（色合い）」、「Color（色の濃さ）」、「Sharpness（シャープネス）」を調整します。

- 「Gamma（ガンマ）」は初期値のときは「STD」（または「User」）と表示されます。変更すると、設定値が表示されます。

Advanced Picture Settings（映像詳細調整）

映像を詳細に調整するときに「On（オン）」を選びます。

- 「Advanced Picture Settings（映像詳細調整）」左側の▶をクリックすると設定項目が表示されます。

Backlight Scan（バックライトスキャン）

動画のボケが気になる場合に、「On（オン）」に設定します。

Low Latency Mode（低遅延モード）

フレーム間高画質処理を設定します。

- 「Off（オフ）」を選ぶと、フレーム間高画質処理が使えるようになります。ただし、「On（オン）」のときより遅延が増えます。

Resolution+（レゾリューションプラス設定）

緻密で精細感のある高画質処理機能を設定します。

❶「Resolution+（レゾリューションプラス）」で「On（オン）」を選ぶ

❷「Gain（ゲイン調整）」、「Limit Level（補正レベル）」、「Multi-Frame（3次元フレーム）」、「Mask Level（フィルムグレイン制御）」の設定・調整する

- **Gain（ゲイン調整）**

  レゾリューションプラスの効果（強さ）を調整します。

  Auto（オート）：画面の種類に応じて自動的に調整されます。

  Manual（手動）：手動で調整します。

- **Limit Level（補正レベル）**

  レゾリューションプラスの効果が現れる画像細部の明暗差を設定します。

  Auto（オート）：画像の種類に応じて自動的に制御されます。

  Manual（手動）：手動で調整します。数値が大きくなるほど、画像細部のより大きな明暗差に対してレゾリューションプラスの効果が現れます。

外部入力の映像設定をする つづき

● Multi-Frame（3次元フレーム）
動画のちらつきやノイズを低減させるときに、「On（オン）」を選びます。

● Mask Level（フィルムグレイン制御）
動画のチラツキやノイズを低減させるときに、「オン」を選びます。
Auto（オート）：画像の種類に応じて自動的に制御されます。
High（強）、Middle（中）、Low（弱）：フィルムグレイン抑制の効果が切り換わります。強くするほどグレインをより抑える方向に働きます。
Off（オフ）：この機能は働きません。

Color Texture（カラーテクスチャ）

色の濃い部分の精彩感や質感を復元する機能を設定します。

❶「Color Texture（カラーテクスチャ）」の「On（オン）」を選ぶ

❷色別に復元機能を調整する

● 以下の設定をします。
Auto（オート）：画像に応じて自動調整されます。
Manual（手動）：手動で調整します。数値が大きいほど、効果が大きくなります。

LTI（輝度エッジ補正）

輝度成分の輪郭を際立たせる機能を設定します。

● 以下の設定をします。
Auto（オート）：映像の種類に応じて自動的に制御されます。
Manual（手動）：手動で調整します。
「0」で補正がオフになります。
「10」で効果が最大になります。

V Enhancer（Vエンハンサ）

画像の垂直方向の輪郭を強調するときに、設定します。

● 以下の設定から選びます。
High（強）、Middle（中）、Low（弱）：強くするほど輪郭が強調されます。
Off（オフ）：この機能は働きません。

MPEG NR

動きの速い映像のブロックノイズとモスキートノイズを減らします。

● 以下の設定から選びます。
High（強）、Middle（中）、Low（弱）：強くするほどノイズをより抑える方向に働きます。
Off（オフ）：この機能は働きません。
※ 効果を強くすると、精細感を損なう場合があります。

DNR

ノイズを減らします。

● 以下の設定から選びます。
High（強）、Middle（中）、Low（弱）：強くするほどノイズをより抑える方向に働きます。
Off（オフ）：この機能は働きません。
※ 効果を強くすると、残像が目立つ場合があります。

Mosquito NR（ブロックノイズクリア）

映像の輪郭部周辺に現れるモスキートノイズを減らします。

● 以下の設定から選びます。
High（強）、Middle（中）、Low（弱）：ブロックノイズクリアの効果が切り換わります。
Off（オフ）：この機能は働きません。

外部入力の映像設定をする　つづき

Color Edge Enhancer（色エッジ補正）

色の輪郭を際立たせます。

● 以下の設定をします。

Auto（オート）：映像の種類に応じて自動的に制御されます。

Manual（手動）：手動で調整します。

「0」で補正がオフになります。

「10」で効果が最大になります。

Brilliance Restoration（輝き復元）

映像の光沢を復元します。

● 以下の設定をします。

Auto（オート）：映像の種類に応じて自動的に制御されます。

Manual（手動）：手動で調整します。数値が大きくなるほど、映像の光沢が復元されます。

Backlight Control（LEDエリアコントロール）

映像の明るさに応じてエリアごとのバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。

● 以下の設定から選びます。

High（強）、Middle（中）、Low（弱）：LED エリアコントロールの効果の強さが切り換わります。

Off（オフ）：この機能は働きません。

Dynamic Contrast（質感リアライザ）

映像の白飛びや黒つぶれを抑えて、明るい部分や暗い部分の質感を豊かに表現します。暗いシーンでの肌色の質感を豊かに再現します。

● 以下の設定をします。

Auto（オート）：映像の種類に応じて自動的に制御されます。

Manual（手動）：「Bright Gain（明部ゲイン）」、「Dark Gain（暗部ゲイン）」を手動で調整します。数値が大きくなるほど、効果が大きくなります。

Off（オフ）：この機能は働きません。

De-Interlace Mode（プログレッシブ処理）

24p/30p で制作されたインターレース方式の映像を 2-3/2-2 プルダウン処理する機能です。

● 以下の設定から選びます。

Auto（オート）：プルダウン処理が自動的に行われます。

Video（ビデオ）：ビデオ処理が行われます。

30p：30p で制作された映像に適した設定です。

24p：24p で制作された映像に適した設定です。

Reset（初期値に戻す）

映像設定の内容を、初期値に戻すときに「Reset（初期値に戻す）」をクリックします。

画面の指示に従って操作してください。

設定内容の保存と復元

設定内容を保存する

設定した内容をバイナリ形式（.bin）の設定ファイルにしてパソコンに保存することができます。

❶ [Save（保存）]ボタンをクリックする

❷ 保存先を選び、ファイル名を設定して保存する

- 保存が完了すると「保存しました」が表示されます。

設定内容を復元する

保存した設定ファイルを呼び出して、設定・調整した内容を復元します。

❶ [Restore（復元）]ボタンをクリックする

❷ 設定ファイルを選び、ファイルを開く

- 復元が完了すると「復元しました」が表示されます。

キャリブレーションセンサーを使って適正化する

● モニターは、使い続けていくと白色の色温度と明るさが少しずつ変化していきます。経時変化により白は暖色系へと変化し、明るさも暗くなります。使用時間が200時間～300時間に1回の頻度で、キャリブレーションセンサーを使って適正化をすることをお勧めします。適正化をすることで、常に安定した色を維持することができます。

準備

● **キャリブレーションセンサーを接続します。**
接続のしかたは、取扱説明書をご覧ください。

● **適正化するパソコンを接続します。**
パソコンとの接続は、➡5 ～ 6 ページをご覧ください。

● **パソコンのブラウザを使って、モニターの設定・調整画面を呼び出します。**
呼び出しかたは、➡7 ～ 8 ページをご覧ください

キャリブレーション画面を呼び出す

❶ Calibrationsタブを選ぶ

適正化する

● 適正化には、**映像モードに合わせて調整する**適正化と**お好みの設定値で調整する**適正化があります。

映像モードに合わせて適正化する

※ 映像モードが「TV」または「MOVIE」のときは、適正化できません。

❶ 適正化したい映像モードが選ばれていることを確認する

● 選ばれている映像モードの設定値が表示されます。設定値を変更することはできません。

● 映像モードは、モニターが表示している外部入力(「DisplayPort」、「HDMI Dual」、「HDMI 1」、「HDMI 2」)のタブで設定されているモードが表示されます。
映像モードを変更するときは、該当する外部入力のタブで映像モードを変更してください。

❷ [Done（設定完了）]を選ぶ

キャリブレーションセンサーの準備が完了すると、モニターの画面に適正化を開始するメッセージが表示されます。本体の操作スティックを使って「Yes（はい）」を選ぶと、適正化を開始します。

▼

適正化が終了するまで、しばらくお待ちください。

▼

適正化が終了すると、Calibration画面に適正化後の数値が表示され、「Apply（適応）」ボタンが表示されます。
内容をモニターに反映するときは、「Apply（適応）」をクリックします。

▼

内容がモニターに適応されたら、完了です。

● 途中で中止するときは、本体の操作スティックを押す、またはパソコンの画面で「Stop」をクリックします。

● 適正化が完了したら、キャリブレーションセンサーをはずし、キャリブレーションセンサーの拡散板を閉じておきます。

お好みの設定値で適正化する

❶映像モードが「User（ユーザー）」になっていることを確認する

- 映像モードは、モニターが表示している外部入力（「DisplayPort」、「HDMI Dual」、「HDMI 1」、「HDMI 2」）のタブで設定されているモードが表示されます。
  映像モードを変更するときは、該当する外部入力のタブで変更してください。

❷「For Printing（印刷用）」、「For Photos（写真用）」、「For Web Content（Webコンテンツ用）」から適正化したいモードを選ぶ

- 選んだモードの設定値が表示されます。

❸ 変更したい項目を選んで、設定値を変更する

● 以下の範囲で設定できます。

項目		指定範囲	指定最少範囲
Brightness（輝度）(cd/m2))		40 ～ 350	1
Color Temperature（色温度）(K)		4000 ～ 15000	100
WHITE	X	0.2130 ～ 0.4130	0.0001
	Y	0.2290 ～ 0.4290	0.0001
RED	X	0.5200 ～ 0.7600	0.0001
	Y	0.2100 ～ 0.4500	0.0001
GREEN	X	0.1800 ～ 0.4200	0.0001
	Y	0.4800 ～ 0.7200	0.0001
BLUE	X	0.0300 ～ 0.2700	0.0001
	Y	0.0000 ～ 0.1800	0.0001
Gamma（ガンマ）		1.6 ～ 2.7	0.01

❹ 設定を変更したら、[Done(設定完了)]を選ぶ

● 変更した数値に合わせて、適正化を開始します。

キャリブレーションセンサーの準備が完了すると、モニターの画面に適正化を開始するメッセージが表示されます。本体の操作スティックを使って「Yes（はい）」を選ぶと、適正化を開始します。

▼

適正化が終了するまで、しばらくお待ちください。

▼

適正化が終了すると、Calibration画面に適正化後の数値が表示され、「Apply（適応）」ボタンが表示されます。
内容をモニターに反映するときは、「Apply（適応）」をクリックします。

▼

内容がモニターに適応されたら、完了です。

● 途中で中止するときは、本体の操作スティックを押す、またはパソコンの画面で「Stop」をクリックします。

● 適正化が完了したら、キャリブレーションセンサーをはずし、キャリブレーションセンサーの拡散板を閉じておきます。

お知らせ：

- 変更した内容は、「設定内容の保存と復元」(➡ 17 ページ)の操作で保存され、保存された内容は復元することができます。
- 変更した設定値は、「Reset(初期値に戻す)」(➡ 16 ページ)の操作をすると、変更前の初期設定値に戻ります。

■ 初期設定値は以下になります。

項目		For Printing (印刷用)	For Photos (写真用)	For Web Content (Webコンテンツ用)
Brightness(輝度) (cd/m2)		80	100	80
Color Temperature (色温度)(K)		5000	5500	6500
WHITE	X	0.3459	0.3324	0.3129
	Y	0.3585	0.3477	0.3291
RED	X	0.6744	0.6832	0.6753
	Y	0.3103	0.3140	0.3094
GREEN	X	0.1965	0.2075	0.1952
	Y	0.6953	0.7112	0.6968
BLUE	X	0.1505	0.1479	0.1485
	Y	0.0475	0.0482	0.0452
Gamma(ガンマ)		2.2	2.2	2.2

ICCプロファイルの保存と適用

ICC プロファイルは ICC(インターナショナル・カラー・コンソーシアム) が定めた基準に従った色情報のデータです。入出力機器の色表現の差異を低減させ、より正確な色の表現をするためのものです。
TUM-32PRO1 を使った ICC プロファイル適用のしかたは以下になります。
※ ICCプロファイル適用は、映像出力しているパソコンで実施してください。

Windows7の場合

①モニターの設定・調整画面を呼び出す

- 「モニターの設定・調整画面を呼び出す」(➡ 8 ページ)の操作をして、呼び出します。

②映像出力、プロファイルを適用したい入力のタブを選ぶ

③使用する映像モードを選ぶ

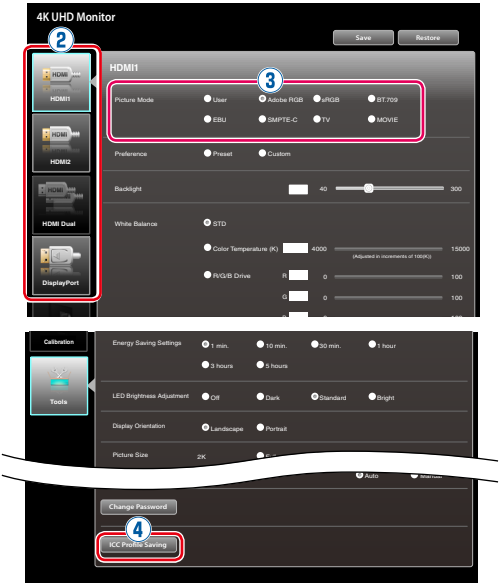
④「Tools(ツール)」タブを選び、「ICC Profile Saving(ICCプロファイルの保存)」をクリックする

- 表示された画面で「保存」を選びます。

Internet Explorer 9の例：

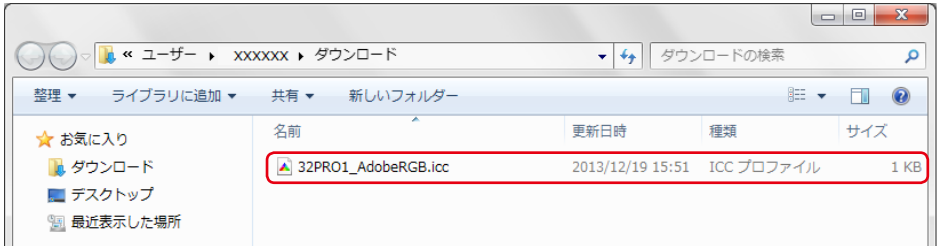
- 保存後、表示される画面で、「フォルダを開く」を選びます。

Internet Explorer 9の例：



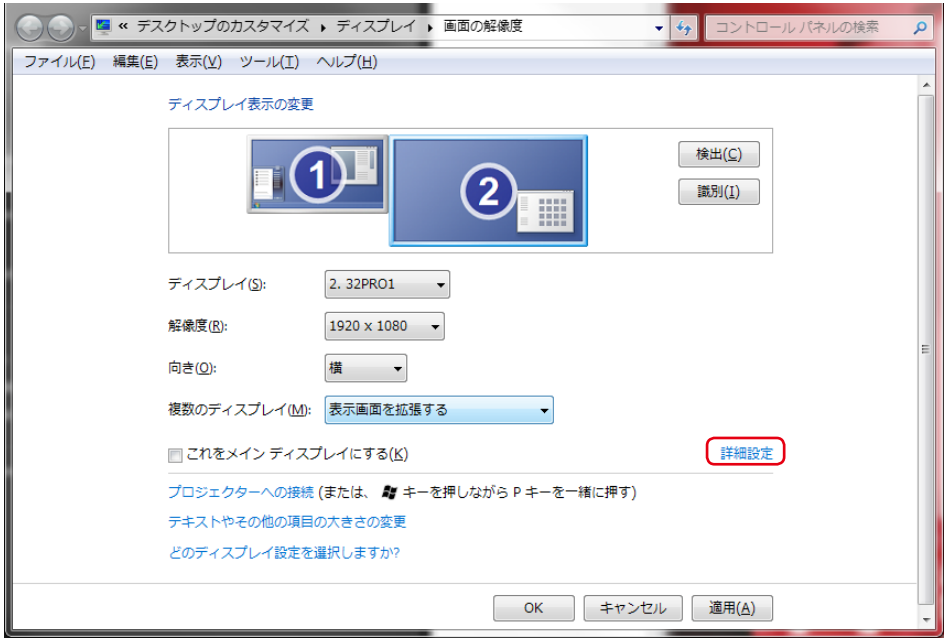
ICCプロファイルの保存と適用　つづき

⑤表示された画面(エクスプローラー)で、保存したファイル(画面の例では32pro1_AdobeRGB)を右クリックして「プロファイルのインストール」を選ぶ



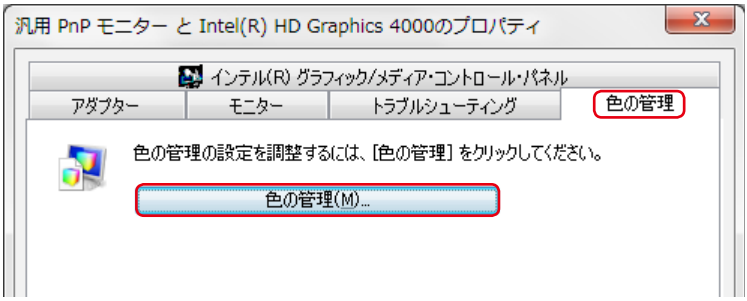
⑥コントロールパネルから「画面の解像度」に進み、「詳細設定」を選ぶ

- コントロールパネル ▶ デスクトップのカスタマイズ ▶ ディスプレイ ▶ 画面の解像度の順に進み、「**詳細設定**」を選びます。

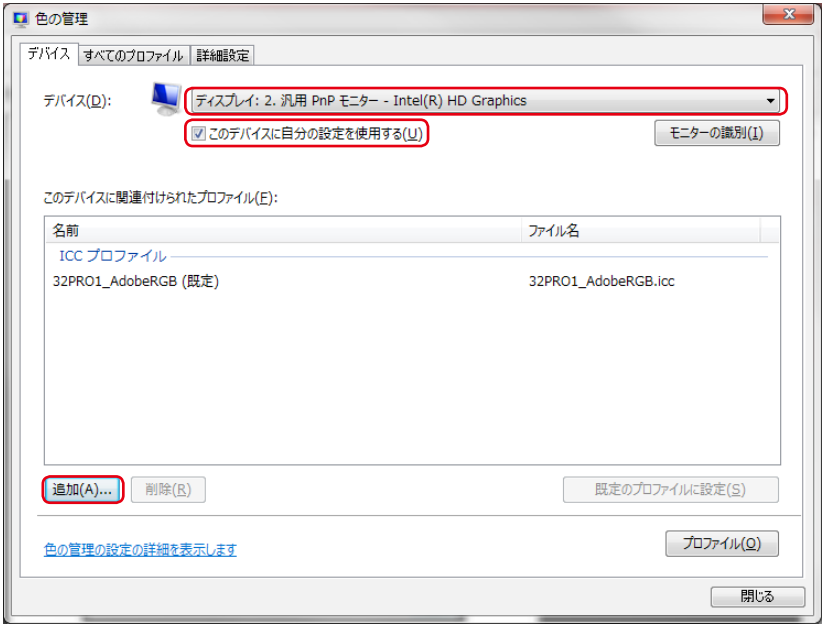


ICCプロファイルの保存と適用　つづき

⑦グラフィックのプロパティから「色の管理」のタブを選び、「色の管理」ボタンをクリックする



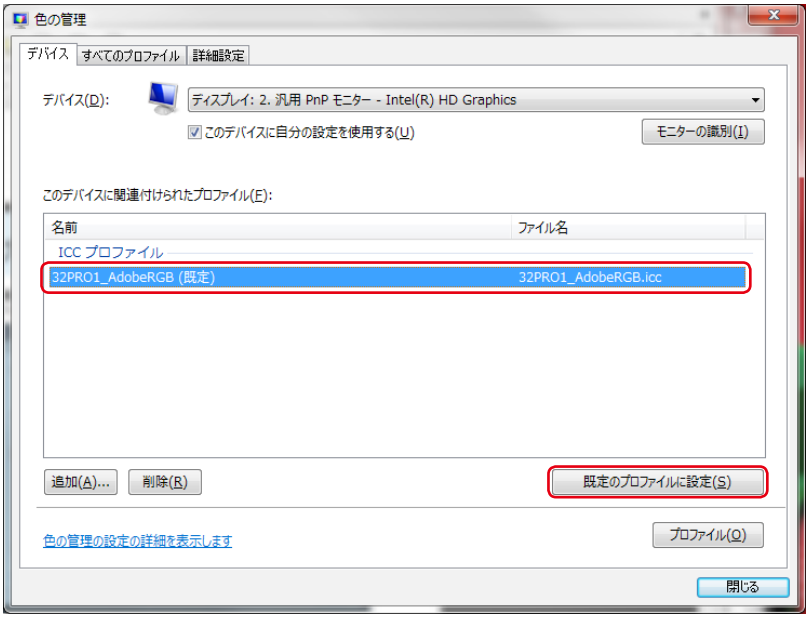
⑧「色の管理」画面の「デバイス」でプロファイルを適用するモニターを選び、「このデバイスに自分の設定を使用する」にチェックマークをつけてから、「追加」ボタンを押す



⑨手順⑥で表示された保存したファイル(手順⑥の例では32pro1_AdobeRGB)を選ぶ

ICCプロファイルの保存と適用　つづき

⑩「色の管理」画面の「このデバイスに関連付けられたプロファイル」で、保存したプロファイルを選んでから、「規定のプロファイルに設定」をクリックする



⑪適応されたら、「色の管理」画面の「閉じる」をクリックして終了する

ICCプロファイルの保存と適用　つづき

MAC OS Xの場合

①モニターの設定・調整画面を呼び出す

- 「モニターの設定・調整画面を呼び出す」(➡ 8 ページ)の操作をして、呼び出します。

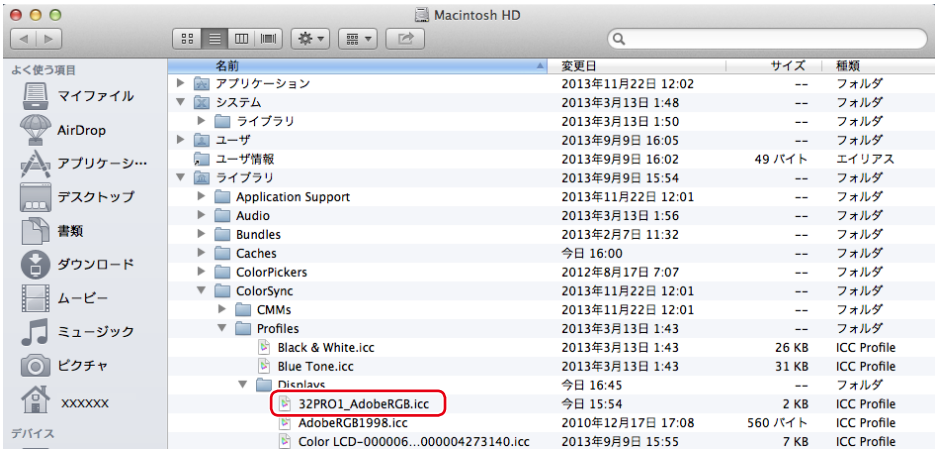
②映像出力、プロファイルを適用したい入力のタブを選ぶ

③使用する映像モードを選ぶ

④「Tools(ツール)」タブを選び、「ICC Profile Saving(ICCプロファイルの保存)」をクリックする

- 表示された画面で「保存」を選びます。

⑤保存したプロファイルのファイル(例では、32PRO1_AdobeRGB.icc)を「ライブラリ」▶「ColorSync」▶「Profiles」▶「Display」にコピーする



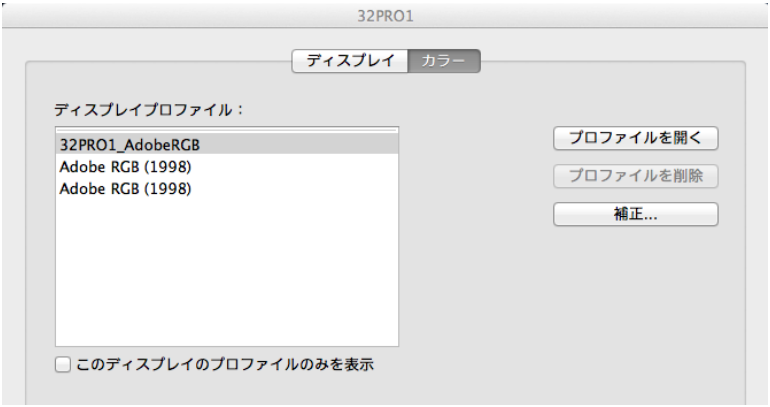
ICCプロファイルの保存と適用　つづき

⑥「システム環境設定」▶「ディスプレイ」を開く

● 各ディスプレイに設定用の画面が開きます。

⑦32PRO1上の「ディスプレイ」画面で、プロファイル(例では、32PRO1_AdobeRGB)を選ぶ

● プロファイルが適用されます。



TOSHIBA
Leading Innovation